



# 社会福祉法人 熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 53号 平成28年新年号

## ふたりはひとりにまさる社会を！

社会福祉法人 熊本いのちの電話

理事 岡 成 也  
(熊本 YMCA 総主事)



今年、熊本いのちの電話開局、30周年を迎えました。福田桐理事長をはじめ多くの支えてくださる皆様のご奉仕とご支援の賜物であると感謝いたします。私にとって「熊本いのちの電話」は故廣石鑑光熊本YMCA元総主事はじめ、歴代の総主事が活動の一翼を担っておられたことに敬意と感謝の念をわたし自身が一昨年、熊本YMCAの総主事に就任し、あらためて痛感いたしました。

聖書の中に“ふたりはひとりにまさる”という言葉があります。それは、ひとりが倒れた時に、もうひとりが助け起こすことができるからです。人間は強さと弱さ、長所と欠点を共に持っています。社会、コミュニティというものは、その人の持つ長所を伸ばしていくと同時に、弱さを補い合うものだと思います。人の弱さを補うため、助けるために、人間は強さを持っているのです。社会とは、共に生きることによって、自分自身が生かされ、同時に隣人が生かされるために必要なものなのです。人と人とが生きていく時、特に心の拠りどころが必要とされるということを、今の社会は語っているのではないのでしょうか。

様々な課題を抱え苦しみ、悩み、自身を肯定できない精神状態で生きる難しさ、夢や希望が持てず、計り知れない試練と忍耐の中で、支え合っておられる方々に、そっと寄り添う社会が本来の「共に支え合う社会＝ふたりはひとりにまさる社会」ではないかと考えます。この社会の実現を目指すのが、1985年に始まった「熊本いのちの電

話」です。自殺予防を第一の目的に掲げ開局した30年前から少しずつ自殺者の減少傾向へと成果を上げられ、いのちに寄り添うお働きに心から感謝いたします。

わたしたちを取り巻く社会は日々変化し、先の見えない不安感は社会全体を覆い、今日的課題は尽きることがありません。社会的排除や摩擦、貧困、社会的孤立や孤独、心身の障がい・不安、社会福祉制度の隙間、グローバル社会と時代の流れは待ってくれません。

熊本いのちの電話はボランティアで運営されています。ボランティア運動は人が人として生きていくための基本的人権を尊重し、神様から託された大切ないのちを守り育む思想を持ちながら持続可能な活動とならなければいけないと考えます。

長年ボランティア相談員として、心の危機にある人の声に耳を傾け支える相談員の皆さん、その運営を支える人、企業・団体・個人それぞれに支援の形は違いますが、わたしたちひとり一人が社会生活を主体的に担う市民として様々な課題に取り組む生き方こそ成熟社会にある私たちの姿だと思います。将来に希望の持てる社会へ導く働きへ、ボランティア組織として「ふたりはひとりにまさる社会」を実現するために、いのちの電話の働きを推進してまいりましょう。

人を愛し、地域社会の豊かな交わり、良好な人間関係、コミュニティの醸成は心の平安と平和な社会をつくりだすことができると信じています。

### 通信53号 目次

巻頭言 .....	P1	感謝報告 .....	P3	活動報告 .....	P6
若年層の自殺の現状 .....	P2	開局30周年記念式典 .....	P5		

相談電話 096・353・4343

# 若年層の自殺の現状

## 1. 自殺者数の推移

わが国の自殺者数は平成10年以降14年連続で3万人を越える状況が続いていましたが、平成24年に15年ぶりに3万人を下回り、平成26年は2万5,427人となりました。

熊本県の自殺者数は平成25年が376人、平成26年は340人となり、36人減少しました。

自殺死亡率（自殺死亡率とは人口10万人あたり自殺者数）は25年が20.9人、26年で18.9人で対前年9.6%低下しており、全国平均より良好な数値となっています。しかし、概ね毎日一人が自ら命を絶たれている深刻な状況です。

## 2. 死因順位別にみた年齢階級・死亡率・構成割合

わが国における若い世代の自殺は深刻な状況にあり、15～39歳の各年代の死因の第1位は自殺となっています。

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	97	1.7	20.8	自殺	91	1.6	19.5	不慮の事故	67	1.2	14.3
15～19歳	自殺	455	7.6	35.9	不慮の事故	336	5.6	26.5	悪性新生物	149	2.5	11.8
20～24歳	自殺	1,253	20.9	51.7	不慮の事故	411	6.8	17.0	悪性新生物	176	2.9	7.3
25～29歳	自殺	1,424	21.4	49.2	不慮の事故	367	5.5	12.7	悪性新生物	301	4.5	10.4
30～34歳	自殺	1,599	21.5	40.9	悪性新生物	635	8.5	16.2	不慮の事故	419	5.6	10.7
35～39歳	自殺	1,981	22.2	30.8	悪性新生物	1,496	16.8	23.2	心疾患	635	7.1	9.9
40～44歳	悪性新生物	2,872	30.2	28.4	自殺	2,172	22.8	21.5	心疾患	1,193	12.5	11.8
45～49歳	悪性新生物	4,691	56.7	33.4	自殺	2,207	26.7	15.7	心疾患	1,761	21.3	12.5
50～54歳	悪性新生物	8,209	107.5	39.9	心疾患	2,558	33.5	12.4	自殺	2,211	29.0	10.7
55～59歳	悪性新生物	14,260	186.2	45.5	心疾患	3,822	49.9	12.2	脳血管疾患	2,464	32.2	7.9
60～64歳	悪性新生物	30,908	321.7	49.1	心疾患	7,667	79.8	12.2	脳血管疾患	4,384	45.6	7.0

平成25年 資料 厚生労働省「人口動態統計」より内閣府作成

## 3. 先進7カ国の15～34歳における死亡者数及び死亡率

わが国の若年層の自殺の状況は国際的にも深刻であり、15～34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっているのは先進7カ国では日本のみで、その死亡率も他の国に比べて高いものとなっています。

	日本 2011			フランス 2010			ドイツ 2012			カナダ 2009		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
第1位	自殺	5,436	20.1	事故	2,136	13.8	事故	1,772	9.3	事故	1,721	18.7
第2位	事故	1,916	7.1	自殺	1,484	9.6	自殺	1,446	7.6	自殺	1,035	11.2
第3位	その他	1,499	5.5	R00-R99*	1,064	6.9	悪性新生物	1,008	5.3	悪性新生物	502	5.5

	アメリカ 2010			イギリス 2010			イタリア 2010			韓国(参考) 2011		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
第1位	事故	27,171	31.7	事故	2,071	12.7	事故	1,806	13.2	自殺	3,160	22.2
第2位	自殺	10,339	12.1	自殺	1,096	6.7	悪性新生物	931	6.8	事故	1,488	10.4
第3位	殺人	9,000	10.5	悪性新生物	1,032	6.3	自殺	598	4.4	悪性新生物	901	6.3

資料 世界保健機関資料より内閣府作成

## 4. 若年層の自殺対策

警察庁の自殺統計に基づく平成26年の若年層（40歳未満）の自殺者数は6,581人で、全自殺者数の約26%です。しかしながら全自殺者が減少していく中で、若年層の自殺者数の減少幅が他の年齢層に比べて小さいものにとどまっていることなど、若年層の自殺は依然、深刻な問題であり、喫緊の対応が求められている、と平成27年自殺対策白書で述べられています。

熊本いのちの電話は受動的で待ちの対応であり、若年層に能動的に働きかけることは出来にくいのですが、それでも何が出来るか考え、出来ることから行動に移したいと考えています。

# 感謝報告

## ご支援ありがとうございます。

熊本いのちの電話は多くの皆様に支えられています。感謝をもってご報告させていただきます。

### 寄付感謝報告

(平成27年6月1日～12月3日)

#### 法人・団体の部

(敬称略・順不同)

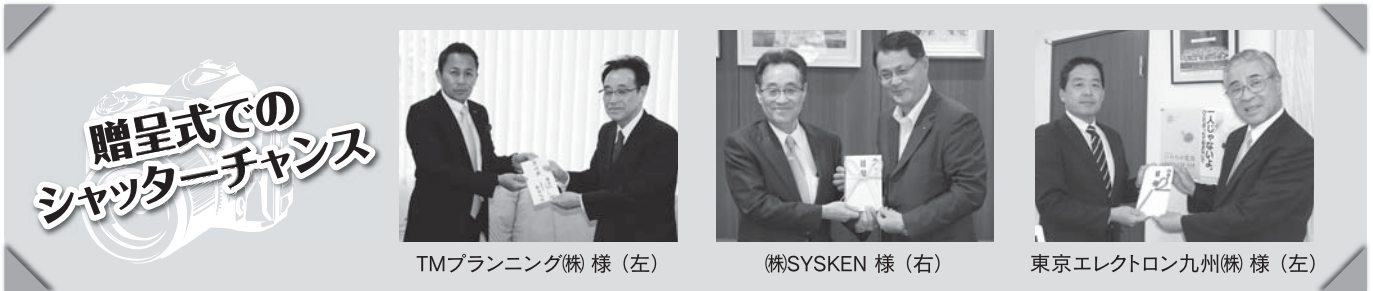
青山法律事務所 (医)朝日野会 朝日野総合病院 (株)岩永組 インマヌエル熊本キリスト教会 (株)うしじま酒点 (株)魚国総本社 九州支社 NTT西日本 熊本支店 (株)NTF 緒方消化器内科 (株)亀井ランチ (株)木村 九州ネクスト(株) 九州通信産業(株) 熊本学園大学	青山 定聖 岩永 一宏 牛嶋 崇 田所 伸浩 寺地 弘幸 緒方 一朗 亀井 明德 木村 光男 柿田 泰宣 成松 真	熊本第一信用金庫 熊本ロータリークラブ (株)小竹組 (株)コスギ不動産 (医)孔子会 (株)SYSKEN (株)シスニック 城野印刷所 (医)寿量会 熊本機能病院 西部電気工業(株) (医)添島歯科医院 (株)鶴屋百貨店 (株)TMプランニング 東京エレクトロン九州(株)	豊住 賢一 大堂 正人 小杉 康之 豊田 大徳 福元 秀典 古沢 輝幸 宮川 一巳 添島 義樹 久我 彰登 松尾 俊昭	遠山歯科医院 西田総合保険(有) (株)肥後銀行 仏厳寺 法光寺 まつばせレディースクリニック  (株)みどりや 明正電設(株) 森本法律事務所  匿名(4社)	遠山 啓介 西田 至 甲斐 隆博 高千穂 哲也 沖田 芳惇  村本 順一 東 静一 安原 茂行 森本 耕司
---	--	--	--	---	--

#### 個人の部

(敬称略・順不同)

青木孝子 伊久美寛志 石川エミ子 井上陽介 今村真佐子 上村みどり 江崎啓子 岡田洋一	悦小笠原正嘉 治原嘉祐 平啓二 本美二 河本美二 小出伸介 小澄康彦 見玉幸子 後藤秀昭	坂村哲子 清水善郎 田尻和子 田代妙子 俵恭子 長倉瑛子 中田千枝子 中村花誠	中村久美子 中村直美子 中山維子 西井くに子 廣石妙子 堀浩善子 益田典子 松山喬光	三井良子 宮崎健三郎 宮崎美緒子 村田晃一 村山伸樹 森崎賀久子 森村陽子 山道キヨノ	吉田迪子 米倉容子 米満宏子 吉永圭子  匿名(5名)
--	--	--	---	--	--

※お茶、コーヒー等もありがとうございました。感謝をもって、ご報告させていただきます。



TMプランニング(株)様(左)

(株)SYSKEN 様(右)

東京エレクトロン九州(株)様(左)

### 募金式自販機寄付

(平成27年12月1日設置中のもの)

(敬称略・順不同)

中村整形外科 愛育会 福田病院 池田事務所	寿量会 熊本機能病院 九州電機工業株式会社 菊陽レディースクリニック	九州ルーテル学院大学 孔子の里 寺尾会 寺尾病院	(株)九電工 熊本支店 (株)九電工 熊本営業所 (株)九電工 大和ハウス桜木寮
-----------------------------	--	--------------------------------	--

ご支援いただいている自販機は現在12ヶ所14台で、平成26年12月から累計で170,874円になりました

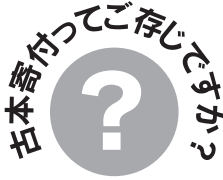
#### 募金式自販機とは...

募金式自販機とは売上げの一部をご寄付いただいている自動販売機(清涼飲料)のことで、「熊本いのちの電話」の広告がラッピングされています。見かけたことはありませんか。自販機設置者のご協力を得て、サントリービバレッジサービス社と提携して只今拡大中です。ご協力いただける自販機の情報をお待ちしています。詳しいことは、HPまたは事務局にお問い合わせください。



朝日野会 朝日野病院 / (株)NTF / 大洞一成 / 風間喜美江 / 熊本トヨタ自動車(株)  
熊本市社会福祉協議会 西区事務所 / (株)SYSKEN / (株)シスニック / 竹林恵子 / 竹下星子  
中山興弘 / 野中三郎 / 野村證券(株) 熊本支店 / 松本敬子 / 山隈彩乃 / 山添邦子 / 木下美奈子  
開 由美子 / 前田敦子 / 熊本YWCA

古本寄付は平成26年11月から累計で74,650円となりました。



ご自宅にある読み終えた書籍で寄付ができます。10冊以上まとめて提携先に送ると、査定され熊本のいのちの電話に決定金額が振り込まれます。着払いで送ることができ、家も片づく一石二鳥のいい話です。「10冊以上はないなー」とお考えのあなた、いい方法がありますよ。ご家族で、職場や仲間同士で、まとめてみませんか。

ただし、寄付ができない書籍があります。例えば書籍の裏にISBN(国際標準図書番号)がないものは、残念ですが送ることができません。詳しいことは、HPまたは事務局にお問い合わせ下さい。

## 電話相談員についての説明会と 養成講座受講生募集のご案内

### ☆ 説明会開催

新しい試みとして、いのちの電話についての説明会を開催いたします。

「いのちの電話の相談員ってどんなことするんだろう」

「ボランティアはしてみたいけど……」

など、自分にできるかなと不安に思っておられる方、是非ご参加下さい。

◆日時 平成28年3月11日(金)・12日(土)・13日(日)

13時30分～17時まで「説明の時間は1回30分くらい」

◆会場 熊本市市民会館 二階会議室

◆申込 予約は必要ありませんが、日時指定をご希望の方は事務局までお知らせ下さい。

### ☆☆ 養成講座の受講生募集をはじめました。

◆前期期間 平成28年5月10日～9月13日

◆後期期間 平成28年10月4日～平成29年3月23日

◆受講料 前期・後期 各 15,000円  
(後期の一泊研修は実費)

◆応募締切 平成28年4月30日

◆受講会場 熊本YMCA中央センター  
熊本市中央区新町1丁目3-8

◆申込方法 まずは電話にておたずね下さい。  
熊本のいのちの電話事務局  
096-354-4343





去る、10月12日に熊本新都心プラザにて、開局30周年記念行事が開催されました。

第1部の記念式典では、福田理事長より「30周年を契機として、相談員、役員一同、自殺予防のために尚一層心をつつにして自殺予防の働きに精進していきます」と式辞が述べられ、その後3名の方より祝辞をいただきました。

熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局長の松永寿様に代読いただいた、熊本県知事からの祝辞では「熊本県の平成24年～25年にかけての自殺死亡率の減少率は全国1位。これは皆様が取り組まれてこられた活動の成果が表れていると考えている。しかし、自殺者数は依然として高い数字であることには変わらないので、今後も引き続き協力をお願いしたい。」と、また、熊本市長 大西一史様からは「相手の見えない電話というつながりの中で相談を受けられる皆さん方が、相手の気持ちを感じ、受け取ることは大変なことだと思う。自殺対策の取り組みは、行政だけでなく、皆さんのような民間の取り組みが無ければ続かない。一緒に手を取りながら、一人でも自殺者を減らしていきましょう。」という言葉をいただきました。



最後は日本のいのちの電話連盟副理事長 金子圭賢様。「ひたすら悩みを聞き、それを無償で30年も続けてきたことは、行政ではとても出来えなかったことである。自殺者数は減ってはきているが、日本の自殺率は先進国の中ではとても高く、また、その後ろには、自殺未遂の方、自殺予備軍の方など、大勢存在する。いのちの電話のこれからの活躍がますます期待されるだろう。」と、熱い思いを述べていただきました。

続いて、5つの団体と4名の個人の方に感謝状の贈呈が行われた後、これまでの熊本いのちの電話の歴史をまとめた「30年のあゆみ」が音楽と共に上映されました。

第2部では絵本作家である葉祥明氏を迎え「いのちをつなぐ 言葉の力」と題した一般公開による記念講演会が行われました。中でも、葉祥明氏自ら作品を朗読していただいた時間は、まさに“言葉の力”を体感することができ、聴衆のみなさんの心癒すひとときとなったのではないのでしょうか。質疑応答の時間も丁寧に答えていただき、葉祥明氏の温かいお人柄あふれる講演会の終了と共に、記念行事は盛況のうちに幕を閉じました。

## 開局30周年記念チャリティ公演報告

平成27年8月30日 熊本市民会館崇城大学ホールで、チャリティ公演を開催しました。昨年に引き続き、中村花誠さんの企画・監修で「輝け！伝統文化こども祭」をテーマに、少女舞踏団 ザ・わらべをはじめ大勢の子供たちによる踊り、太鼓、謡いや和楽器の演目が繰り広げられました。伝統を重んじた勇壮で艶やかなステージは、観客席の目を釘付けにしました。

フィナーレでは、出演者全員での歌とダンスに、惜しめない拍手が湧き上がり、伝統文化こども祭りは盛況のうちに幕を閉じました。応援頂きました企業団体のみなさま、公演に足を運んでくださったみなさまに心から感謝申し上げます。

### 【出演者】

ザ・わらべ、こわらべ、花喜楽、ShareThanks！  
熊本県太鼓連盟選抜ジュニアチーム  
おとのわMUSIC、熊本県吟剣詩舞道総連盟  
碩台小学校和楽器クラブwith 梢の会



# 熊本いのちの電話活動報告

いのちの電話電話相談員  
**全国研修会  
かごしま大会**  
10月16日(金)  
～18日(日)

## 於 鹿児島県民交流センター

「今ここに」あなたと共に生きる・・・のテーマで、かごしま大会が開催されました。熊本からは7名の相談員が参加、全国の仲間と共に研修・親睦と、充実した時間を過ごしました。

**ボランティア  
週間バザー**  
11月21日(土)

## 於 サンロード新市街

これ迄の交通センターコート売場と違って、人通りが多く沢山の方が品物を手にしたり、眺めたりと足を止めて下さいました。中には値段交渉も上手く、あれもこれもと大きな紙袋をいっぱいにして帰られる方も。

売り子たちの勢いのよい声かけ、また上手な勧め方もあってこれ迄にない82,835円の純利益がありました。品物の提供など御協力頂きました皆様には心よりお礼を申し上げます。



**全体研修**  
11月22日(日)

## 於 熊本県婦人会館

### 「当事者の話を聞く」

参加者は68名。実際にいのちの電話にかけておられたSさんに、その時の思いや病気と向き合った日々など、体験を通してのお話を伺いました。かけてこられる方たちのお気持ちを今一度考える貴重な機会を得て、これからの相談対応へ生かしたいと思いました。



**相談員  
自主研修**  
12月13日(日)

## 於 熊本県婦人会館

12月13日(日)県婦人会館に於いて、池田クリニック院長池田稔先生の講演会が、4班合同で行われました。約50名の出席があり、笑いあり驚きあり、皆さん真剣なまなざしで、先生の講話に耳を傾けました。質疑応答では、相談員から次々と質問があり、その都度先生に丁寧に答えていただき、とても有意義な講演会でした。

## 編集後記

“光陰矢の如し” 去年もあっという間に過ぎました。何故か、年々早く感じます。年齢のせいでしょうか。それとも世の中の流れがスピード化しているからでしょうか。

皆に平等に与えられている365日8760時間ではありますが、時間というものにはそれぞれの使い方というものがある。1分1秒を貴重なものとして大切に積み上げていく人、そうでない人。人の為に使う人、そうでない人。自分の為にだけ使う人、そうでない人。

さて、自分は？出来るものならばじっくり、ゆっくり、たっぷりと味わいながら積み重ねていきたい。

人の為でもあり、自分自身の為にもありと自分の時間が精一杯有効活用できればそれが何より。今年はそんな年にしたいと考えています。

## 事務局日誌

平成27年 7月～11月

27年 7月	5～7日	全国事務局長会議 出席
8月	11日 30日	チャリティ広報テレビタミ出演・12日シティFM出演 第17回開局30周年記念チャリティ公演
9月	13日 15日 26日	第40回 日本自殺予防シンポジウム 2名出席(青森) 第32期電話相談員養成講座前期終了式 九州地区いのちの電話事務局長会議(福岡)
10月	6日 12日 16～17日 17日	第32期電話相談員養成講座後期開講式 熊本いのちの電話 開局30周年記念式典 第33回いのちの電話相談員全国研修会 7名出席(鹿児島) 九州地区研修担当者会議 2名出席(鹿児島)
11月	1日 7日 16日 21日 22日	研修委員・研修リーダー 全日研修 全国研修担当者セミナー 2名出席(川崎) 熊本市自殺対策連絡協議会 くまもと市民ボランティア週間バザー出店 全体研修会(研修委員会主催)

※毎月10日 フリーダイヤル(10日08:00～11日08:00まで)

※第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会



社会福祉法人 熊本いのちの電話

事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号

TEL096-354-4343

発行人: 福田 稔 編集: 広報委員会

熊本いのちの電話

検索



赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。